

行政報告のつづき

今議会にゼロ・1歳児の入園希望が急激に増加し、待機児童が発生している需要に対応するため、その状況が顕著な長船福岡地域に、ゼロから2歳が対象の小規模事業所を民間事業者が整備する予算が計上され、可決しました。

●小規模事業所とは・・・

6から19人定員で、原則ゼロから2歳児に対して保育を行う事業である。

●今後のスケジュール・・・

今年度中に、国の交付金を活用し必要な改修等を行い、令和5年4月の開園を予定している。

●来年度からは、邑久に新しいこども園が開園するし、整備中の今城こども園も整備が終わる。

それでもまだ、ゼロから2歳の保育が必要なのか。

今現在のゼロ歳児の定員が、全市で48名となっているが、今年度の申込み数は、102人だった。

今城についてはゼロ歳児が来年の4月から3名から9名定員になり、6名増える。

邑久のルンビニこども園についても、ゼロ歳児が6人、1歳児が12人、2歳児が12人の定員を考えている。しかし、特にゼロ歳児については、手当てが必要と考えている。という説明でした。

くさかとしこの主張：

このことについては、民間の話として詳しい説明はありませんでした。

■福岡のどこにできるのか？民間こども園はどこ事業者か？

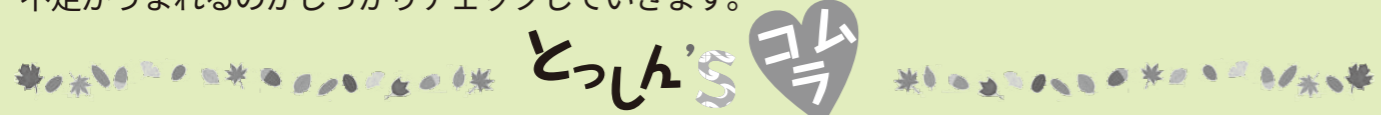
■民間こども園事業者と契約するのは、個人か・団体か・法人か？

■建物と駐車場の貸し賃は発生するのか、しないのか？

いくら、民間の話で国の交付金が市をトンネルして民間事業所にいくとしても、あまりにも不透明な事が多すぎます。私の一般質問の待機児童の質問には、現在7人であると回答し、今年初めの27人の待機児童がまるでなくなったかのように聞こえます。が、これは卵が先か、鶏が先かの話で、就職先が決まらなると保育園は申し込めない、保育園に入れないと就職先は決められない。そんなジレンマに悩んでいる保護者がこの数字の奥に隠れていることを忘れていただきたい。

今、待機児童に名前を出せるのは休職中の人だけです。そして、福岡のこども園についての説明では、あたかもゼロ歳の待機児童が54人もいるかのような説明です。

待機児童が本当は何人いて、来年4月にゼロ歳の受け入れ人数が12人増えた時に、どれだけの不足がうまれるのかしっかりチェックしていきます。



8月議会が終わって、決算を審査していますが、最近の瀬戸内市議会は、危機的状況だと感じています。

なにがかとすると、議員の問題意識のなさ！先日の総務委員会の決算では、ウクライナの寄付に対する質問に対して『予算を認めたんだからもうえかろう』という発言がありました。そんなことを言うなら、もう決算なんて必要ありません。決算はしっかりチェックしてそれが次の予算に繋がると私は信じています。



長船美しい森のふもとの耕作放棄地のコスモス畑

また、環境福祉委員会では、以前は2日かかっていた審議が、なんと午前中2時間で終わってしまいました。もはや今の瀬戸内市議会は、機能していない、終わっているようにしか見えません！

この状態に一石を投じたいと考えてはいますが、ぜひ相談に乗っていただきたいと思います。

今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。もっともっと勉強して頑張りますので、ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。よろしくお願ひ致します。

行政 NEWS

とっしん

vol 38

今年も台風の季節がやってきましたが、幸いにも瀬戸内市には今のところ大きな被害はありませんが、決して他人ごとではありません。

昭和20年、昭和51年、平成2年と、3度も床上浸水を経験している我が地域にとっては、身につまされます。こういった経験をするたびに、防災の必要性を痛感します。今後とも、災害情報の伝達の問題・避難所の問題・避難方法の問題に、しっかり取り組んでいきます。また、油杉川の排水の問題・干田川の排水の問題にも、しっかり取り組みたいと思います。排水は、農地を守るだけでなく家を守る、人の命を守るのですから、その必要性をしっかり声を上げていきます。

皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

今回の私の一般質問は

1. 有害鳥獣対策について 2. 子育て応援についてを取り上げさせていただきました。

1. 有害鳥獣対策について

有害鳥獣対策については、この9年間ずっと言い続けています。そして、まだまだではありますが、対策がずいぶん前へ前へと進んでいることに感謝しています。

平成28年4月には、瀬戸内市にだけなかった【鳥獣被害対策協議会・鳥獣被害対策実施隊】を立ち上げることができました。

平成29年には市役所に有害鳥獣対策室が出来ました。

平成29年から、侵入防止策として、集落柵に対し国・県から1/2の補助に1/4の市独自の上乗せ補助ができるようになりました。またそれまで補助されていなかった猟期中の捕獲に対しても、1頭8千円、今は6千円ですが、捕獲補助金ができるようになりました。

猟期以外の狩猟の補助金についても増額して、イノシシ・鹿は1万6千円になりました。

令和3年度から市の新規事業として、瀬戸内市鳥獣被害に強い集落づくり支援事業補助金も出来ました。この補助金は、自治会や集落柵の整備地区において、集落環境整備や集落柵の維持管理などの鳥獣被害対策に取り組む場合に、費用の一部を補助するものです。これらのことを見てもわかるように、瀬戸内市の有害鳥獣対策はとても素晴らしいと思います。

その中で唯一遅れているのが、捕獲鳥獣の処理ルートの確立です。

くさかとしこの主張：

捕獲鳥獣の処理ルートの確立は、方法は2択しかないと考えています。

まず一つは、クリーンセンターかもめに捕獲獣のカット機械を置くことです。もう一つは、東部クリーンセンターへの持ち込み、まるごと焼却の連携をお願いすることです。そのどちらかでの対応をお願いしました。

市からは、交付金の活用を前提とし、来年度予算の計上を目指すとの回答をもらうことが出来ました。

令和4年10月24日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上 569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯 TEL 090-5702-8336
ホームページ



<http://www.kusaka-toshiko.jp/>

一般質問のつづき！

2. 子育て支援について

くさかとしこの主張 ♡

～待機児童対策について～

約6年前、「保育園落ちた日本死ね！！」と題した匿名ブログが話題になりました。子育て世代の多くは、いまだに保育の確保に悩まされています。この瀬戸内市も決して例外ではありません。

この質問は、今年2月にもしました。あれから何も変わってはいません。現在10月、今年度はまだ半年以上もあります。

来年には確かに待機児童はなくなるのかもしれませんが、それも大事なことでありますが、来年のことではなく、今年この困っている保護者をいかにして救うことが出来るかが、子育てを名乗る瀬戸内市になれるかどうかの大事な分岐点ではないでしょうか？

今年困っている保護者を助ける手立ては、私は一時預かりしかないと考えています。

1人当たりの、1カ月の平均の一時預かりの回数が6回だと説明がありました。本来一時預かりは、1人1カ月13回が上限のはずです。1カ月に13回預けることが出来れば、あと何日か工夫すれば一時預かりに預けながら働くことは可能です。しかし、今のように1人1カ月6回しか預けることが出来ないのでは、とうてい働くなんてことは出来ません。

私のもとにも、複数の保育園を掛け持ちしても、1カ月に3、4日しか預けることができないのをどうにかして欲しいという保護者の切なる声も届いています。

残り半年、一時預かりの許容人数を増やす努力を求めました。

～老朽化した長船東保育園の今後の計画について～

長船東保育園は昭和50年築で、老朽化が進んでいます。その建物に対しトイレの洋式化の議論では、老朽化が激しいので対象外とされ、臨時交付金を使った公立保育園の遊具の更新は対象となりました。

この同じ保育園に対し、対象となったり対象外となったりするのは納得がいきません。最近の子どもたちにとって、洋式トイレは必須ではないでしょうか。

大型複合遊具は、安全面の観点から、できるだけ早く更新する必要があると説明がありましたが、洋式トイレこそできるだけ早く更新する必要があると思います。長船東保育園は、市内全保育園子ども園の中でも一番古い建物です。なにをかくそう雨漏りにも悩まされる建物です。立地的にも、低い立地で仮にも何かあった時に安全と言えるような場所でもありません。

そんな、問題だらけの老朽化が激しい保育園について、だましまし使うのはそろそろ限界ではないでしょうか？早期の今後の計画の策定を求めました。



老朽化が激しい長船東保育園



和式のままの老朽化したトイレ



行政報告

牛窓学校給食調理場を邑久学校給食調理場に統合する予算は、すでに当初の2月議会に可決していました。今議会では、総額が3億7千万円から6億5千万円に増大していました。これは、邑久学校給食調理場の機器更新を同時にするためですが、あまりに説明不足です。議会軽視ともいえます。この点については、強く抗議します。

学校給食調理場についてのこれまでの経緯	
平成26年11月議会	邑久学校給食調理場の米飯炊飯委託する予算が提出された。 私は、直営で安全安心を追及することが重要として、予算を削除する修正案をこの時初めて提出しました。
平成27年4月	邑久学校給食調理場の米飯炊飯が開始。
平成29年9月議会	平成30年4月から邑久学校給食調理場を民間委託する計画が提出された。 私はこの時も、委託に反対し直営で安全安心を追及することが重要として反対しました。
平成30年4月	邑久学校給食調理場が民間委託となる。
平成31年2月議会	平成31年8月から長船学校給食調理場を民間委託する計画が提出された。 牛窓学校給食調理場を邑久へ合併する計画が出された。
令和1年8月	長船学校給食調理場が民間委託となる。
令和3年2月議会	牛窓学校給食調理場を邑久学校給食調理場へ統合する予算を可決した。
令和3年9月議会	牛窓学校給食調理場と邑久学校給食調理場の統合を合併特例債の対象とした。
令和4年9月議会	牛窓学校給食調理場と邑久学校給食調理場を統合する予算、約6億5千万円を可決した。

くさかとしこの主張 ♡

学校給食調理場については、できることなら直営で安全安心の食を守っていききたいという思いはありましたが、コスト・人手不足を理由になし崩し的にどんどん委託へ・統合へと進んでしまいました。ここまで進んでいるのを、ここで卓袱台をひっくり返す方がいいとはどうしても思えませんでした。だから今回も私は、賛成しました。

ただ、以前の説明では、牛窓の400食分が邑久に増えても、委託の予算は変わらないと説明したのに、今回は2千万円の

予算追加と説明があったことには、腹立たしさはあります。(それでも長船のコストと変わらないと納得しましたが...)

今後も、しっかりとした丁寧な説明を求めます。

	邑久	長船	牛窓	邑久+牛窓
竣工	平成13年	平成16年	平成7年	令和6年
調理可能食数	2,100食	2,000食	1,200食	
調理食数(R4)	1,600食	1,220食	382食	1,982食
必要調理員数	15人	12人	7人	
配送員数(R4.4)	3人	2人	2人	
調理員数(R4.4)	委託	12人	7.5人	
直営価格			38,979,000	
1食コスト(年間200日計算)			510	邑久+2千万円
業務委託価格(見積)	54,648,000	49,992,000	37,000,000	74,648,000
1食コスト(年間200日計算)	171	205	484	188

各学校給食調理場のコスト比較 単位(円)

議案名	議決年月日	採決結果	採決結果										賛成	反対									
			かなえの会	日本共産党瀬戸内市議員団	公明党瀬戸内市議員団	創成クラブ	瀬戸内市民の会					新風											
			柴井誠司	成本崇	島原舞	厚東晃央	島津幸枝	河本裕志	川勝浩子	竹原幹	日下俊子	小野田光	原野健一	平原順二	木下公文	室崎隆海	廣田均	小谷和志	石原芳高	岩田恵一			
議案第69号	令和4年度瀬戸内市一般会計補正予算(第4号)	R4.9.22	原案可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	13	4

賛否の公表